

吉田統括監だより

第 7 号

皆様こんにちは。地方創生担当統括監の吉田です。

一步一步冬の足音が近づきつつある今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

東北や広島県内に位置する日本最南端の豪雪地帯での生活を長らく続けてきた私にとっては、こんなに暖かい冬を迎えるのが初めてで、体が楽で大変助かっています。

南国に住むありがたさを真に実感するのは『冬』の過ごしやすさなのかもしれません。

さて、本号では次のことについて、町民の皆様を紹介・説明します。

- 1) 錦江町総合戦略改訂版における『細かな取組み』について
- 2) 各自治会での説明会について
- 3) 公募型『町民・議員・行政職員』と『行政特別職』による先進地への合同研修について（報告）
- 4) 全国で活躍されている方々による『地方創生』関連講演会について

1. 錦江町総合戦略改訂版における『細かな取組み』について

先月号では目指すべき町の『姿』や戦略及び戦術について説明しましたが、本号では5つの戦術のうち、『プロジェクトを支える土台づくり』について詳しく説明します。

1) 戦術①『プロジェクトを支える土台づくり』について

地域活性化の進行状態を『ホップ・ステップ・ジャンプ』として示した場合、『ホップ』する為には『確固たる土台』が必要です。当町の場合『確固たる土台』とは、町民と行政が当町の置かれた現状や危機感を共有した上で、町の『未来』をつくる活動に老若男女の参画を促すことであると定義しました。強固な『土台作り』が成長型社会から縮小型社会への大転換を乗り越え、質の高い地域経営を支える大きな原動力になると確信し、最優先戦術と位置付けました。

2) 主な取組み内容

- I 移住定住促進
 - I - 1 錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会（平成 29 年 4 月 1 日設立予定）
- II 町内の組織や個人の『接着剤的スペシャリスト人材』の全国公募
 - II - 1 **志が高く実践経験が豊富な人材と若く優秀な人材**を組合せて全国公募獲得
※現在全国公募中（町内在住者及び町出身者の応募は0件でした。11月22日現在）
- III 町民や行政職員の『危機感・目的・目標・役割』の共有化と協働意識啓発
 - III - 1 **町内 91 自治会への経過説明会及び意見交換実施**（現在実施中）
 - III - 2 **未来想像・創造コンテスト後継版提案企画**（実施済み、平成 29 年度も継続実施予定）
 - III - 3 百人委員会によるふるさと納税の使い道検討（平成 29 年 2 月より実施予定）
 - III - 4 集落の困りごと情報収集（現在自治会ごと説明会にて実施中）
 - III - 5 広報誌の戦略的運用実践および広報の壁新聞・WEB 新聞連動化（平成 29 年度開始予定）
 - III - 6 **全国先進自治体との実践状況比較評価と情報共有**（現在実施中）
 - III - 7 町広報誌や新聞・テレビ、高度情報技術を駆使した総合的な啓発活動（現在実施中）
- IV 民間主導型『地域づくり』団体による各分野連携型地域活性化活動
 - IV - 1 当町が『見習うべき』と判断した自治体との**政策連携推進と人材交流促進**（現在実施中）
 - IV - 2 町内に複数の『**地域活性拠点**』を設置し、各種事業実践を加速化（平成 29 年度**開始予定**）
※次号では、戦術②『しごとづくり』について説明します。

2. 各自治会での説明会について

錦江町の未来づくりの指針である『錦江町総合戦略』の改訂が終了し、関係機関での報告や承認取り付けを終えたため、いよいよ、手をこまねいてしまえば来るかもしれない危機、当方の想い、目指すべき未来、行動方針そして町民の皆様と共に進めていきたい具体的な取組み内容を提案し、ご意見を拝聴すべく 10 月より各自治会で説明会をスタートしましたが、12 月～1 月は次の通り開催予定をお知らせします。